

スポーツ観戦として“ケイリン”を観に来て！ 立川競輪場で、6年後のメダリストを応援しませんか？

「競輪場＝ギャンブル」なイメージから訪れたことがない市民の方もいらっしゃるのでは？しかし、2012年に48年振りにガールズケイリンが再開され、選手やタレントを招いてのイベントも盛んな競輪場は魅力がいっぱいです！



小林莉子さん
ガールズケイリン1期選手。
東海大菅生高校出身。1993年3月26日生、164cm
A1＝競輪場の場所が分かりにくいので、看板など案内を増やすといいと思います
A2＝映画館、ラーメン屋さん巡りが好きです

増茂るこさん
ガールズケイリン1期選手。
東京女子体育大学在学中。1991年12月10日生、167cm
A1＝夜の競輪場をライトアップしてほしい
A2＝昭和記念公園。特に冬のイルミネーションがおすすめです

ケイリン選手になったのは、「ソフトボールを続けるつもりが、おじいちゃんが勝手に申し込んで」と小林莉子選手。「女子大生しながら競輪場でバイトしたら母から半強制的に勧められて」と増茂るこ選手。まるでジャニーズアイドルのようなきっかけだったお二人ですが、毎日の厳しい練習で培った実力は本物。二人とも2012年上位7名が出場するグランプリ大会に出場、小林選手は初代チャンピオン。しかも、現在まだ20歳。「体が完成す

るまでにあと5年くらいかかります。6年後の東京オリンピックでメダルを獲りたいです！」。今から成長が楽しみです。

「スポーツ観戦としてケイリンを観に来て！」「ガールズケイリンをきっかけに新しいファン層を増やしたい！」「子どもたちに憧れられる職業にしたい！」とケイリンの未来へ熱い想いを語るお二人。とても礼儀正しくて明るく前向きな、子どものお手本にふさわしい、魅力的な選手でした。

ケイリンの魅力は何といってもエンジンを使わず、人力から生まれるスピードと迫力。これは競輪場に行かなければ味わうことはできません。特にガールズは男子よりルールがシンプルで自転車もウェアも華やか！はじめてケイリンを観戦する方にもおすすめです！

(石橋武史)

立川競輪場〔曙町3-32-5 ☎(524)1121〕たちかわ競輪ホームページ
HP <http://www.tachikawakeirin.jp>

市民編集委員のページ 市民の目線で地域の情報を発信



1月31日(金)～2月2日(日)、立川競輪場でガールズケイリン開催。増茂選手が出場予定。応援よろしくをお願いします！



市民編集委員の4人が所属する「ネットワーク多摩 学生委員会」も共同事務室で活動中！3月末に農業体験イベントを開催！

立川の魅来人のミライジン



近寄りづらいきれいな佇まいとは裏腹に、数学を好きになれる場所、統数研



さまざまな特殊車両を使った訓練を見学しました

このページは、市民公募により任命された「広報たちかわ市民編集委員」が企画・取材・執筆・編集した紙面です。立川で「未来」を描く「魅」力的な人々、「魅来人」を紹介します！

市民編集委員 中島涼 藤島友也 唐澤宏樹 半田颯哉 石橋武史 渡部まどか

取材を受けてくださった方々に次の質問をしました。
Q1＝市への要求や改善点などがあれば教えてください
Q2＝市内でデートするならどこですか
回答は人物プロフィールに併せて掲載しています。



笑顔に誠実な人柄がにじみ出る田島さん

立川駅前周辺のイメージアップの立役者 警察官OBなどによる安全安心パトロール



立川駅のコンコースで目を光らせるパトロール中の田島さん。デパートやホテルの場所を聞かれることもしょっちゅう

編集後記

息子の誕生を機に、もっと地域と関わりたい！と思い応募。活動を通して、今まで知らなかった立川の魅力をたくさん知ることができ、さらに立川好きに！！

（渡部）

統計は、いわゆる「経験則」を大きくしたものです。つまり、統計は今までに出ている結果から、その現象を分析して、これはこういうことだろうと予測をする行為なのです。朴堯星助教は、統数研で働く女性研究者です。韓国から来た朴さんは、日本人の国民性調査や多摩地域の住民意識調査などを行っています。

朴堯星さん
2012年4月から統計数理研究所データ科学研究系助教。専門分野は社会調査、組織心理、行政学
A1＝私は最近自転車に乗るんですけど、立川駅周辺で自転車に乗るのは危ないです。高松駅までの道みたいに整備してあったらいいんですけど……
A2＝映画館に行きます。そのあと近くのお店でピザを食べます。おすすめです



市内のスペシャリストを取材するという貴重な体験ができました

気軽に立ち寄れる場所を目指して 市民活動コーディネーターの取り組み

立川駅南口から徒歩10分。旧市役所を改築してできたのが、子ども未来センター。同センターで市民活動支援を行っている市民活動コーディネーターのお二人にお話を聞かせていただいた。



藤山綾子さん(写真左)・落合祥子さん(写真右)
2012年12月から子ども未来センター市民活動コーディネーター
A1＝市職員との連携をもっと深めたい。人事異動で担当職員との付き合い

コーディネーターは基本的に協働事務室(子ども未来センター2階)に在室している。お二人はこの場所が居心地のよい場所になるように、気軽に書き込める掲示板やノートを置いたり、できるだけ自然体で接したりすることに気をつけているそう。市民活動支援では、協働事務室に登録した団体の企画や広報活動をサポートしたり、他団体とのつながりづくりをしながら立川市を中心としたネットワークを構築する活動を行っている。また、各団体が実施するイベントをお知らせする「プロ

が短くなってしまうことが悲しい(藤山)。子ども未来センター印刷室のコピー機のカラー化!!(落合)
A2＝「子ども未来センター周辺散策」→まんがばーく→夜ご飯→映画館」の立川満喫コース！(藤山・落合)

立川から日本を守るハイパーレスキュー 日々の訓練で「想定外をなくす」

いつか必ず起こる災害に対し努力を惜しまない。訓練に終わりなし。これをスピリットとし、日本のあらゆる災害現場で私たちを守ってくれるハイパーレスキュー隊員。ドラマなどで、ただ漠然とカッコいいイメージが先行しがちの「ハイパーレスキュー」。その裏側をのぞかせていただいた。



ドラグショベルに乗る金子隊員。右手に持つのは東京消防庁マスケットキャラクターの「キュータ」

災害。2011年に起きた東日本大震災を含め、日本ではここ数十年にわたって大きな災害が立て続けに起こっている。消防救助機動部隊(愛

金子聖光さん
2012年から消防救助機動部隊員。主にクレーン車、大型化学車等を担当
A1＝放置自転車等は他自治体と比べ少ないです。いいと思います
A2＝国営昭和記念公園はさまざまな催しがあってよく行きます

こつこつと毎日続けることが大事だと思っています。今後、大規模商業施設のオープンで、ますます立川を訪れる人は増える見込み。「立川の玄関口のイメージを壊したくないですからね」という田島さんに、仕事の喜びを聞くと「いろいろな人があいさつをしてくれること」なんだそう。

「退職後でも、まだまだ働ける自分を感じるのがうれしい」と笑顔を見せてくれました。私も、お見かけしたらお声かけしますね！

(渡部まどか)

立川駅南口地域安全ステーション〔錦町1-3-6キンエービル(JRAウイングス立川A館)1階〕

グラムカレンダー」や、実施されたイベントのレポートをまとめた「コミュプロ通信」を月1回発行している。

協働事務室は団体登録を行えば、シェアオフィスのように打ち合わせや交流の場として利用できる場所。この場所でも多くの団体に接してきて、藤山さんは『「おかげでいい企画になりました」と言ってもらえることがうれしい」、落合さんは「用事のないときでも遊びに来てくれたり、ふらっと寄ってもらえるようになった」と話していた。

完成から1年を迎え、活動登録団体も当初の7団体から37団体に増えた。子ども未来センターという名前だが、子どもからお年寄りまで幅広い年代の人にこの場所を活用してもらいたいと語ってくれた。

(唐澤宏樹)

子ども未来センター〔錦町3-2-26 ☎(529)8682〕
子ども未来センターホームページ
HP <http://www.t-mirai.com>、フェイスブック
FB <http://www.facebook/tachikawa.commupro>

称ハイパーレスキュー)は1995年に起こった阪神・淡路大震災を教訓として発足されたスペシャリスト部隊だ。特殊な装備、重機を扱う優秀な隊員で構成された部隊が立川市内にあることは大変心強い。

お話を伺ったのは金子聖光さん。若くて快活な方だ。彼を含めたハイパーレスキューの方々は要救助者を助けるために日々訓練に励まれている。また、金子さんは体が資本ということで生活リズムや体調にも気を配り、勤務の後もトレーニングが行われているそう。

「想定外をなくせるよう日々訓練に臨み、事故のいかなる状況でも迅速かつ安全に動き、確実に人命を救助したい」。そう語ってくれ、その思いは全隊員の気持ちだと感じさせてくれた。「休みの日は自転車に乗って街を回っています。ついつい道の大きさや舗装の具合まで気にしてしまいます(笑)。あとは車を運転することが好きなのでよく車にも乗りますよ。そのおかげか、22台の特殊車両の練習も苦ではなかったです」。

普段の生活にも消防士としての自分が存在している、熱い方だった。

(中島涼・藤島友也)

東京消防庁第八消防方面本部消防救助機動部隊〔泉町1156-1 ☎(524)0119〕
立川防災館(隣接)で例年5月にハイパーレスキュー見学会を開催。立川防災館ホームページ
HP <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ttbskan/>